

初めまして。弘前大学医学部医学科6年の熊谷勇太と申します。2022年3月14日から4月8日まで三沢病院の内科で実習させていただきました。三沢病院の内科は自分で患者さんの診察をすることで初期研修に向けて実践的な環境で力をつけることができると伺ったため選択させていただきました。

実習の内容としては、新患者さんの問診と診察を主に行なっていました。患者さんの主訴と病歴から鑑別疾患を考えて、質問する内容や必要な診察を行うことはやはり簡単なことではなく実際の診察中に頭がショートしてしまうことも少なくありませんでした。

でもその度に指導医の星先生から言われた「まずは緊急疾患を除外できれば、その後は時間をかけて診断してもよい」という言葉を思い出し、順序立てて診察を行うことができました。

緊急疾患の除外には、各症候ごとのRed Flagと呼ばれるサインを1つ1つ確認していく必要があります。例えば突然生じた痛みは様々な症状においてRed Flagとなりますが、「その症状は突然起こりましたか？」と患者さんに聞くと人によって「突然」の時間の幅があるため危険な兆候の判定に困ることがありました。そこで星先生が言っていたのは「症状が起こった時は何をしてましたか？」と聞くと本当に突然症状が生じた人はその瞬間のことを詳しく話せるし、そうでない人は記憶が少し曖昧になるとのことです。患者さんへの質問の仕方まで大変勉強になりました。

患者さんの診察の他にも、心電図・胸部X線・血液検査値など、いざ自分が所見を読み取る立場になると分からないことだらけでした。開いて調べていくとあっという間に1日が終了してしまい、「研修医になったらこれよりももっと大変になるのか…」と途方に暮れたこともありました。しかし分からないことを調べて身に付けることを1カ月間繰り返したことで明らかに前までの自分よりも成長を実感することができました。何よりも毎日自分が書いたカルテに星先生からフィードバックをいただけたことで、自分の課題を明確にしながら前に進むことができました。ありがとうございました。

最後になりますが、1ヶ月間で最も感じたのは三沢病院のスタッフの方々の温かさです。学生の私にも丁寧な指導をして下さった星先生をはじめ、カルテで困ったときに助言を下さった先生方、私のおぼつかない診察を見守って下さった外来の看護師さん、毎日元気に挨拶して下さった事務の方々、そして仲良くして下さいました研修医の長岡先生、1ヶ月間本当にありがとうございました。これからも三沢病院で得た経験を活かして頑張ります！



期間：2022.3.14～2022.4.8